

二〇二三年度 大妻中野中学校 第二回海外帰国生入試

十二月二十二日 問題用紙

国語

受 験 番 号			
			番
			氏 名

受験上の注意

- (一) この問題用紙は表紙を含めて全部で七ページあります。
- (二) 試験開始後ただちにページ数を確認してください。
- (三) 問題用紙、解答用紙それぞれに座席番号と受験番号と氏名を忘れずに記入してください。
受験番号と座席番号は算用数字で記入してください。
- (四) 試験時間は五十分です。
- (五) 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- (六) この試験は百点満点です。

□ 一 次の文を読んで、後の設問に答えなさい。

※著作権の都合上省略

二 次の各問いに答えなさい。

A 漢字に関する問題

- 問一 次の――部のカタカナは漢字にし、漢字は読み方をひらがなで答えなさい。（ただし、送り仮名があるものは送り仮名もひらがなで書くこと）
- ① くわしい説明をシヨウリヤクして伝えるのは良くないことだ。
 - ② 今年のお盆に、家族全員でハカマイリに出かけた。
 - ③ 中学校時代のオンシの言葉が、今でも心に残っている。
 - ④ 友人から演奏会のシヨウタイ状をもらった。
 - ⑤ 父と美しい日本テイエンをながめた。
 - ⑥ 先月号の雑誌にノツていた洋服を買った。
 - ⑦ 中学生になったら、吹奏楽部に入部したい。
 - ⑧ 浅瀬を渡って、川の向こう岸に行く。
 - ⑨ 校長先生からトロフィーを贈呈された。
 - ⑩ 和室の障子を開けて掃除をする。

B ことわざ・慣用句・四字熟語に関する問題

問二 次の慣用句・四字熟語の□の部分には、数字が入ります。最も適当な数字を漢数字で答えなさい。

- ① 石の上にも□年 (苦しみに耐えれば、いつかは報われるということ。)
- ② 二兎を追うものは□兎をも得ず (欲張って二つのことを同時にすると、どちらも成功しないこと。)
- ③ 三つ子の魂□まで (幼いときの性質は、一生変わらないこと。)
- ④ □面楚歌 (周りがすべて敵だらけであること。)
- ⑤ 七転□倒 (苦しみのあまり転げ回ること。)
- ⑥ □方美人 (誰にでも愛想よく振る舞うこと。)
- ⑦ 一日□秋 (とても待ち遠しいこと。)
- ⑧ 二束□文 (値段が極めて安いこと。)
- ⑨ 心機□転 (何かをきっかけに、気持ちが変わること。)
- ⑩ □里霧中 (方針や見込みがまったく立たないこと。)

問題は次ページに続きます。

C 文法・言葉づかいに関する問題

問三 次の文は、それぞれ二通りの意味にとれます。文の内容があとの中野さんのコメントと一致するように、読点(「、」)を一つ加えてわかりやすくしなさい。

① ここではきものをぬいでください。

中野さん：「海外のお客さんが来るから玄関に書いておこう。」

② うみにいるかのをたいぐん。

中野さん：「虫よけスプレーを持っていった方が良いね。」

③ おれにくいやだ。

中野さん：「毎日だと飽あきるよね。」

④ だれかいたの。

中野さん：「私だけど、下手だったのかな？」

⑤ なんかいもみたい。

中野さん：「おかしいな、車の絵のつもりだったんだけど……。」

問四 次の文の中の、――部を適切な表現に書き直しなさい。

- ① この映画はまったくおもしろい。
- ② ぜひ、我が家に遊びに来る。
- ③ おそらく明日の夕方には工事が終了している。
- ④ 校長先生が書道の作品を見る。
- ⑤ パンとライスがございますが、お客様はどちらをいただきますか。